

令和2年度 第2次筆記試験 事例Ⅲ(解答用紙)

第1問 (配点 20点)

①: S (強み)

溶	接	・	研	磨	・	特	殊	加	工	等	に	高	い	技	術	を	保	有	し、
設	計	か	ら	の	一	貫	生	産	体	制	を	構	築	し	て	い	る	点	。

②: W (弱み)

溶	接	・	組	立	工	程	と	研	磨	工	程	に	高	度	な	技	術	を	要
す	る	製	品	を	任	せ	ら	れ	な	い	チ	一	ム	が	存	在	す	る	点。

第2問 (配点 40点)

(設問1)

(a) 問題点

イ	メ	一	ジ	の	摺	合	わ	せ	に	時	間	を	要	し	、	凶	面	承	諾
後	の	製	作	段	階	で	も	打	合	わ	せ	が	必	要	な	事	や	顧	客
承	認	ま	で	の	制	作	前	プ	ロ	セ	ス	に	時	間	を	要	す	る	事。

(b) 対応策

打	ち	合	わ	せ	等	に	、	3	D	一	C	A	D	を	用	い	初	期	か
ら	立	体	的	で	複	雑	な	製	品	イ	メ	一	ジ	を	顧	客	と	確	実
に	共	有	し	製	作	段	階	の	調	整	時	間	を	短	縮	す	る	。	

(設問2)

(a) 問題点

①	作	業	ス	ペ	一	ス	の	確	保	が	難	し	く	、	材	料	・	工	具
等	の	運	搬	や	人	の	移	動	に	関	し	て	時	間	が	か	か	る	こ
と	及	び	②	納	期	の	算	定	が	不	正	確	な	こ	と	で	あ	る	。

(b) 対応策

①	工	場	レ	イ	ア	ウ	ト	を	再	設	計	し	現	状	に	適	し	た	も
の	に	改	善	す	る	。	②	工	程	順	序	や	工	数	見	積	も	り	を
標	準	化	し	正	確	な	ス	ケ	ジ	ュ	一	リ	ン	グ	を	行	う	。	

受 験 番 号									
							-		

総合採点欄		
		点

第3問 (配点 20 点)

①	設	計	・	製	作	に	関	す	る	過	去	の	情	報	を	D	B	化	し、
可	能	な	も	の	は	流	用	す	る	こ	と	で	負	担	を	減	ら	し	設
計	時	間	の	短	縮	を	図	る	②	不	要	な	打	ち	合	わ	せ	で	発
生	し	て	い	る	時	間	ロ	ス	を	減	ら	す	た	め	、	現	在	進	行
中	の	案	件	の	仕	様	変	更	や	図	面	変	更	等	の	情	報	を	営
業	、	製	造	両	部	門	間	で	リ	ア	ル	タ	イ	ム	に	共	有	す	る。

第4問 (配点 20 点)

充	実	面	で	、	作	業	チ	ー	ム	の	技	術	格	差	を	体	系	的	ト
レ	ー	ニ	ン	グ	に	よ	り	解	消	し	受	注	増	に	対	応	す	る	体
制	の	整	備	。	拡	大	面	で	、	営	業	部	門	が	行	っ	て	い	る
「	設	計	」	業	務	を	専	任	化	「	施	工	管	理	」	業	務	を	製
造	部	に	移	管	す	る	こ	と	で	負	担	の	軽	減	を	図	り	、	提
案	営	業	活	動	が	可	能	な	体	制	の	構	築	を	助	言	す	る	。